

No.	015	—	1001	事務事業名	道路橋梁維持事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	土木係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	5 道路・交通網の整備		主要施策	(2)市道の整備				
	事業の対象	市が管理する道路等（道路利用者）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	道路網の安全・信頼性を確保し、快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供する。			今年度	市が管理する道路構造物及び舗装の修繕を実施、また、植樹帯等の維持管理を行うことで安全・安心な交通サービスを提供する。						
	活動内容	①	道路構造物等の修繕を必要とする箇所の修繕を計画的に行う。			④							
		②	道路パトロール等で発見した危険箇所や市民からの要望・苦情箇所の迅速な修繕対応を行う。			⑤							
		③	定期的な市道の植樹帯の管理を行う。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
		道路構造物等の修繕箇所数				目標	40	40	35				
				実績	32	37							
舗装補修箇所数				目標	120	120	100						
				実績	94	80							
苦情処理件数		道路管理等に関する重大な苦情		目標									
				実績	9	10							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	13,270 千円	15,290 千円	8,907 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	127,148 千円	122,840 千円	145,330 千円								
	計(A)	140,418 千円	138,130 千円	154,237 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.215 人	7,350 千円	2.282 人	13,907 千円	2.282 人	13,722 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		147,768 千円		152,037 千円		167,959 千円						
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市道や生活道路など市民の生活に直結した身近な事業です。												
有効性	年度当初に市内一円を対象に各種修繕事業を発注しており、早急な対応が可能であることから、最も有効な手段です。												
達成度	事業の性質として、緊急性があるもの、他事業との調整をしながら施工し、継続していくことにより順次達成となります。												
効率性	道路等の修繕、維持管理等をある程度一括して発注する事により、緊急対応が可能であり、経済的にも有効です。												
当面の課題	道路施設や舗装等、傷みの著しい箇所の修繕、及び上下水道事業に係る舗装補修等を同時進行により施工していくため、当分の間費用の削減は困難です。 また、橋梁等点検の義務化に伴い、点検・補修が必修となります。												
改革計画	補助事業の検討及び他事業と同時進行で実施し、手戻り等をなくしていくことで将来的な維持費用の削減が見込まれることから、現時点では止むを得ないと考えます。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	安全で快適な通行を確保するためには、道路施設の維持管理は必要不可欠であることから、道路パトロールで発見した異常箇所や市民からの要望・苦情箇所の迅速な修繕対応を行ってください。 また、橋梁等の点検義務化に伴い費用の増加が想定されるため、限られた財源の中で、緊急性等を考慮し、計画的かつ効率的に維持管理を行う必要があります。												

No.	015	—	1010	事務事業名	道路橋梁新設改良事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	まちづくり課	係名	土木係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第5章 自然と調和する快適な都市基盤のまち		政策項目	5 道路・交通網の整備		主要施策	(2)市道の整備				
	事業の対象	市が管理する道路等（道路利用者）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	道路網の安全・信頼性を確保し、快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供する。			今年度	市道及び生活道路の舗装及び改良工事を実施し、質の高い交通サービスを提供する。						
	活動内容	①	幹線市道の拡幅工事や他の施策に関する市道改良及び舗装を行う。			④							
		②	狭隘箇所や急カーブ等の危険箇所の舗装及び改良工事を行う。			⑤							
		③	地域が望む生活道路の舗装工事及び生活道路拡幅費用の助成を行う。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	42,279 千円	23,843 千円	182,389 千円								
		地方債	31,000 千円	17,600 千円	134,000 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	28,416 千円	16,208 千円	46,877 千円								
		計(A)	101,695 千円	57,651 千円	363,266 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.560 人	3,387 千円	2.157 人	13,145 千円	2.157 人	12,970 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		105,082 千円		70,796 千円		376,236 千円						
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市道については、国庫補助事業、生活道路については9割補助等を有効に活用し効率的に実施しています。												
有効性	生活道路の舗装事業及び改良事業(地元への9割補助)は有効な道路整備の手段です。また市道改良事業については、国庫補助事業を有効に活用しています。												
達成度	社会資本整備総合交付金事業による国庫補助事業の活用により、概ね達成できています。												
効率性	市道については、国庫補助事業、生活道路については9割補助等を有効に活用し効率的に実施しています。												
当面の課題	新市建設計画を元に、地域格差に隔たりが生じないようにする事が課題です。												
改画	地域性及び重要性・緊急性等を考慮し、偏りのないよう、順次整備を促進します。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	今後も道路網の安全・信頼性を確保しながら、快適な道路空間の創造を図り、質の高い交通サービスを提供するよう努めてください。また、生活道路については、緊急性、費用対効果及び地域のバランスを考慮しながら計画的に整備する必要があります。												

No.	015	—	1018	事務事業名	浸水対策事業		細事務事業名	浸水対策工事業務		公的関与	1		
PLAN	課名	まちづくり課		係名	土木係		電話番号	089-964-4412		メールアドレス	machidukuri@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(6) 治山・治水対策、市街地浸水対策の推進				
	事業の対象	ゲリラ豪雨時に浸水被害が発生している地区（浸水被害に不安を感じる市民）					根拠法令						
	事業の目的	最終的	都市化が進展する中、豪雨時の流出量が増加しており、浸水被害を軽減・解消することにより市民の生活環境や道路等の公共施設を守ります。				今年度	排水路整備を行うことにより、浸水被害を軽減・解消する。					
	活動内容	①	浸水対策に向けた水路施設等の改修を行う。				④						
		②					⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
		浸水対策箇所数					目標	2	2				
要望・苦情処理件数		浸水被害に関する重大な苦情			実績	2	2						
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費			
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	23,558 千円	40,540 千円	0 千円								
	計(A)	23,558 千円	40,540 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.392 人	2,371 千円	0.223 人	1,359 千円	0.223 人	1,341 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		25,929 千円	41,899 千円	1,341 千円								
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	昨今の異常気象によるゲリラ豪雨等により、浸水被害が頻繁に起こっていることから、整備は緊急を要します。												
有効性	排水路を整備し、浸水区域上流で分水することにより、下流域の浸水の軽減する有効な事業です。												
達成度	有効な事業がなく、他事業との連携をとりながら目標達成に向け努力しています。												
効率性	排水路整備事業だけでなく、道路事業や他事業との連携により効率的に進めています。												
当面の課題	本事業は、市単独の一般財源であることから、該当する補助事業等の検討が必要です。												
改訂計画	現時点では、他事業との調整及び連携を図り、手戻り等ないよう効率的に進めていく必要があります。												
二次評価者	まちづくり課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	今年度までに実施した浸水対策事業の効果を見極めながら、更に対策の必要な箇所については、土地改良区との調整・連携により効果のある事業を展開する必要があります。このためには、国庫補助制度の活用を検討する等、限られた財源の中で、計画的かつ効率的に事業を行う必要があります。												